

文化経済学

第15巻第2号（通算第45号）

2018年9月

会長講演 創造経済

八木 匡 (1)

論文

ラスキンの価値論における性質と力について

—Intrinsic Value をめぐるラスキンとムーアの相違—

橘高 彰斗 (7)

研究ノート

アーティスティック・スポーツプロダクトから文化芸術市場への

〈ジャンル間転送〉現象の考察

—フィギュアスケート鑑賞者の消費行動分析を主軸として—

町田 樹 (20)

芸術家と地域社会の共創に関する研究

—日本、韓国、メキシコにおける支援型プロジェクトの事例から—

谷口 文保 (32)

文化の経済的価値評価について

—九州国立博物館CVM調査結果をめぐって—

田端 幸朋 (42)

書評

太下義之著『アーツカウンシル—アームズ・レングスの現実を超えて』

水曜社、2017年

伊藤 裕夫 (56)

藤野一夫、秋野有紀、マティアス・テオドア・フォークト編

『地域主権の国 ドイツの文化政策—人格の自由な発展と地方創生のために』

美学出版、2017年

小林 真理 (61)

小林真理編『文化政策の現在〔全3巻〕』東京大学出版会、2018年

吉田 隆之 (63)

大会報告

文化経済学会〈日本〉2018年度研究大会

「文化経済学の新たな潮流」報告

友岡 邦之 (68)